

教養特別講義 2 の昨年度報告および本年度の状況と展望

齋藤 慶子

「教養特別講義 2」は、本学創立者成瀬仁蔵が担当する講義として設けられた「実践倫理」を原点としており、日本女子大学に入学した全学生が履修する必修科目として 2 年次以上を対象に開講されている。本講義の目的は、専門分野の学問研究に立ち向かうにあたり、広い倫理性に基づいた高い識見をもって、人類の未来に創造的に自己実現を果たしていく人材育成をするとともに、現代を生きる女性のキャリアを十分に伸ばすことにある。

講義内容は、2 年次以上を対象とした「教養特別講義 2 - I」で「1. 女性のこころとからだ」、「2. 現代文化の中の女性」、「3. 女性と職業」、3 年次以上を対象とした「教養特別講義 2 - II」で「4. 家族と女性の生き方」、「5. 女性と社会」、「6. 女性と世界」の 6 つのテーマを掲げ、学内外から講師を招いて講演会を開催している。さらに、「教養特別講義 2 - II」では成瀬記念館を見学し、その上でそれらに関して各レポートの作成を課題としている。

講師の選定にあたっては、実施する前年度の教養特別講義 2 委員会委員と学生委員、および現代女性キャリア研究所がテーマに則って候補者を推薦し、そのうち特に学生委員の推薦する候補者を優先して交渉順位を決め、講師候補者との交渉を行っている。

2021 年度に創立 120 周年を迎えるにあたり、目白キャンパスへのキャンパス統合計画とともに、新たな時代に対応したカリキュラムの検討が行われ、これまで 1～3 年次の必修科目として自校教育とキャリア教育を担ってきた「教養特別講義 1、2」は、自校教育に特化した 1 年次の必修科目「教養特別講義」として設置されることとなった。一方、キャリア教育については、女性が社会で力を発揮できる思考力と実践力を育むためのカリキュラムとして新たに必修科目として設置された「JWU キャリア科目・JWU 社会連携科目」に引き継がれることとなった。

そのため、2021 年度は、「教養特別講義 2」を正規カリキュラムとして開講する最終年度となった。キャンパス統合に伴う 1 クラスの受講者数増加と新型コロナウイルス感染症対策のため、学生の安全と学びを保証することを目的として、授業内容はオンデマンド形式とし、各講演者の講演動画を配信する形で実施した。また、全ての動画にキャプションを付し、多様化する受講者への情報アクセシビリティの確保に努めた。講師の方々には、本学における動画撮影か動画提供のいずれかを選択いただき、本学における動画撮影時には、講師選出に関わった学生委員同席の上、撮影を行った。講義動画配信期間中に質問期間を設け、講師からの質問回答もオンデマンド資料として配信した。寄せられた質問からは、講師自身の経験などをふまえて、女性を取り巻く社会状況の変化や、そうした変化にどのように対応していくか等についての講演内容に対し大変興味深く拝聴した様子が見受けられ、それらに対し、講師からは大変丁寧で心のこもった回答をいただくことができた。

2022年度以降の「教養特別講義2」は、再履修者等に対する移行措置カリキュラムとして開講されることとなる。自校教育に特化した新カリキュラム「教養特別講義」においても、学生自らが講師を選出し、在校生にとってのロールモデルとなる女性たちの活躍を知る「教養特別講義2」のあり方は引き継がれ、日本女子大学の歴史をひもときながら学生のアイデンティティ形成に資するカリキュラムとして新たな形で継続される。本講義を通して得られた知識や経験が、学生たちの輝かしい未来の礎となることを切に願っている。

（さいとう けいこ 人間社会学部教育学科准教授・自校教育委員会委員長）